

菊西学舎だより

令和5年7月号

— 地域と共に生きる菊西学舎の子 —

(菊川西中、堀之内小、加茂小、横地小、内田小)

第1回 菊西学舎運営協議会



今年度1回目の菊西学舎運営協議会が7月5日にプラザきくで開催されました。この運営協議会では、学校と地域や保護者が目標やねらいを共有して一体となって、学舎の子どもたちをどのように育てていけばよいか、協議します。

まず、学舎コーディネーターから令和6年度からの設置を目指している「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動について」の説明をしました。

次に、グループ協議を行いました。3つに分かれて菊西学舎の子どもたちの実態を出し合い、その改善向上に向けて、できることを協議しました。話し合いで出された主な意見は次のとおりです。

- ・子どもたちは多様化していて、子どもと大人のギャップが大きいのではないか。
- ・祭典が再開され、地域のコミュニティが図れるようになるのでは。
- ・中学生や子どもたちとの接点やかかわりがない。
- ・地区に知っている人が多いことが、子どもの安心につながる。
- ・合同自然教室など、小学校と小学校の交流を進めている。
- ・標語を募集して、あいさつ運動を盛り上げた。
- ・小中一緒の行事を。
- ・学舎運営協議会とは何か。話し合いが3年前と変わっていない。
- ・学校評議員会と学校運営協議会の違い。学校運営協議会は、自分事としてやれることはないか考えて実行する。
- ・学舎とは何か。六郷小が入っていないのはなぜか。
- ・学舎など、もっと自治会等に浸透を。
- ・学校に来られない子のことなど、テーマを決めて一点突破した方がよいのでは。
- ・三学舎の情報交換を。

地域の子どもたちとのコミュニケーションやかかわり、小学校と小学校や小学校と中学校の交流、学舎や学校運営協議会とは、学舎運営協議会での協議内容などについて、委員のみなさんから御意見をいただきました。

3年目を迎えた小中一貫教育「学びの庭」構想や「コミュニティ・スクール」など、地域や保護者の方々を知っていただけるように、継続的に努めていきたいと思っております。



【学びの庭】 あいさつプロジェクト 2023

7月12, 13, 14日に、菊川市内の小中高生が市役所前や小中学校の校門前で、あいさつ運動を行いました。小笠高校、常葉大菊川高校の協力も得て、小中高が一緒に活動するのは、今回が初めてになります。菊川西中学校や加茂小学校には、小笠高校の生徒2人が来て、のぼりをもって元気な声を交わし合い、交流することができました。久しぶりに顔を合わせた卒業生があいさつをして、会話が弾んでいる光景も見られました。



【学びの庭】 小谷小との交流会 横地小5年生

7月13日に、長野県の小谷小学校の子どもたちが、横地小学校を訪れました。小谷村は旧小笠町と2000年から交流を続けてきました。

多目的室に小谷小学校の子どもたちを迎え、横地小学校からは校歌や能楽の紹介をしました。小谷小学校からは、クイズ形式で校舎の特徴や2階に渡り廊下がある訳、授業でスキーをすること、給食やランチルームなどを紹介をしました。さらに、名刺交換や猛獣狩りというゲームをしてお互いを知り合い、交流を深めました。



【学びの庭】 クミアイ化学出前講座 加茂小5年生



7月20日に地元企業のクミアイ化学による出前授業が行われました。5年生は米作りの学習をしていますが、その時使われる農薬について、米の収穫量を増やすために害虫や病気を防いだり、米づくりの作業時間を減らしたりするはたらきがあることを教えてもらいました。さらに、地球にやさしい農薬開発に向け、一つの薬品を10年もかけてつくっていることもわかりました。SDGsを踏まえて、地球環境を守っていくということにも留意しながら取り組まれていることがわかりました。